

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	仙台青葉学院短期大学
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
		全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
ビジネスキャリア学科	夜・通信	4	-	53	57	7	-
こども学科	夜・通信	1	-	48	49	7	-
歯科衛生学科	夜・通信	1	-	52	53	10	-
栄養学科	夜・通信	2	-	49	51	7	-
観光ビジネス学科	夜・通信	2	-	40	42	7	-
現代英語学科	夜・通信	2	-	10	12	7	-
言語聴覚学科	夜・通信	3	-	91	94	10	-
救急救命学科	夜・通信	2	-	46	48	7	-
(備考)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

仙台青葉学院短期大学「2026年度 シラバス」 https://seiyogakuin.ac.jp/college/student/syllabus/ 仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「高等教育の修学支援新制度」参照
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台青葉学院短期大学
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

仙台青葉学院ホームページ 学校法人北杜学園について 北杜学園 役員等名簿 1 ページ参照 https://seiyogakuin.ac.jp/hokuto/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前仙台市副市長	令和7年5月30日 ～ 選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役社長		経営戦略の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台青葉学院短期大学
設置者名	学校法人 北杜学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科・全学年の授業科目について、修業年限を通した学修成果(到達目標)、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、及び、各科目における学修成果の位置付け、ナンバリング、授業形態(講義、演習、実験、実習の別)、授業の概要、到達目標、学修者への期待、年間の授業の計画(授業の回数やスケジュール)、準備学修(授業時間以外に必要な学修)、評価の方法等を記載したシラバスを作成している。 また、各授業科目で実務経験を有する教員の科目の場合、実務経験の概要や授業科目との関連性も掲載している。 シラバス作成に際しては、シラバス作成要領を教務委員会で作成し、運営協議会で承認を得ている。令和8年度のシラバス作成に際しては、令和7年12月～令和8年1月に学科単位でシラバス作成のFD研修会を実施し、シラバス作成を行った。 各科目担当教員が作成したシラバスは、教務委員会でチェックし、修正依頼を行った上で原稿を完成し、本学ホームページで公表している。学生に対しては、学生専用ポータルサイト(UNIPA)から閲覧できる旨、オリエンテーションで周知している。	
授業計画書の公表方法	仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/college/student/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学学則では、学修の評価及び単位の認定について、以下のように定めている。 仙台青葉学院短期大学 学則 (学修の評価及び単位の認定) 第24条 本学は、各授業科目を履修した者に対して、試験その他適切な方法により総合的に学修の成果を評価し、単位を認定する。 2 評価及び単位の認定に係る基準は別に定め、あらかじめ学生に明示する。 上記の認定に係る基準は、本学履修規程において規定している。また、各科目の具体的な成績評価方法はシラバスに明記している。シラバス作成要領には「評価の方法」の項目を設け、試験、授業内課題等、学修成果の適切な評価を求めている。 単位認定者が作成した各科目の成績評価結果は、教務委員会において審議、承認をしている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価基準は、本学履修規程に定め、学生便覧に掲載し、ホームページにおいて公表している。併せて、客観的な成績評価の指標である GPA を用いている。GPA の算出方法については、本学履修規程に明記するとともに、学生便覧において算出例を挙げ具体的に説明し、その活用例についても記載している。 GPA の計算は以下のように行っている。 成績評価が AA の GP=4、A の GP=3、B の GP=2、C の GP=1 とし、不合格科目の GP=0 とする。履修登録した各授業科目の単位数に当該授業科目の GP を乗じた値を、履修登録した全授業科目について総計し、その値を履修登録した授業科目の総単位数で除したものを GPA とする。 GPA による成績分布状況を把握し、成績優秀者の表彰や学修指導に活用する等、成績評価において客観的な指標を設定し、適切に運用している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	仙台青葉学院短期大学ホームページ「2026 年度 学生便覧」 https://seiyogakuin.ac.jp/college/student/binran Ⅲ履修について 成績評価基準：54 ページ、GPA の算出方法：55-56 ページ、GPA の活用：56 ページ参照 V 諸規程 履修規程：135 ページ参照
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を定め、学生便覧に記載するとともに、ホームページで公表している。 また、本学学則第 35 条に卒業要件、同第 36 条に卒業認定について定めている。卒業要件を満たした者については、教授会及び運営協議会の議を経て、学長が卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	仙台青葉学院短期大学ホームページ「2026 年度 学生便覧」 https://seiyogakuin.ac.jp/college/student/binran 〈ディプロマ・ポリシー〉 I 仙台青葉学院短期大学について 2、4、6、8、10、12、14、16 ページ参照 〈卒業要件及び卒業認定〉 I 仙台青葉学院短期大学について 学則 第 35 条、第 36 条：24 ページ参照

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	仙台青葉学院短期大学
設置者名	学校法人 北杜学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	仙台青葉学院ホームページ 学校法人北杜学園について 北杜学園 事業・財務報告 「令和7年度 事業報告書 学校法人北杜学園」 貸借対照表：17 ページ、収支計算書：14 ページ、 財産目録：35 ページ、監事による監査報告書：20 ページ 参照 https://seiyogakuin.ac.jp/hokuto/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：
公表方法：	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「自己点検・評価及び認証評価」参照

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「自己点検・評価及び認証評価」参照

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ビジネスキャリア学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 職業人として地域社会の活性化に貢献する人材、自己向上の意欲を持ち続け、広い意味でのキャリア形成に生涯努める人材の育成を図ることを、本学科の教育研究における基本的な目的とする。各人はどのような形で社会と関わり、影響を与えることができるか考え、適性と適職についての探求に努める。その過程の中で、自己の能力と価値を、最も効果的に発揮できる状態まで見つけ出すことができる。キャリア形成を促進するために、現代の社会状況を鑑み、幅広い教養教育を基盤とした豊かなコミュニケーション能力と、経営学の基礎理論に裏打ちされたビジネス実務能力を涵養させる。 卒業後の学生の進路は、本学科の課程を修了して身に付けた能力を各分野で発揮し、就業することを想定している。学生が就業先として希望する分野が求める専門的知識や技術を効果的に修得できるよう、各種推奨履修モデルを軸とした教育課程を編成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） ビジネスキャリア学科に 2 年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の 5 つの力で表わされた本学科が定める学修成果を身に付け、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（ビジネスキャリア学）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 1. 変化の激しい社会の中で、どのような状況や環境に置かれても生き抜いていくための基礎力を涵養するべく、実社会と結びつき、かつ学科の分野にとらわれない共通の内容を基本とした、教養教育分野を配置する。 加えてビジネスキャリア学の専門教育に繋がる教養教育科目も配置する。

2. 専門教育分野では、基礎科目、基幹科目、展開科目で編成し、ビジネス社会に必要とされる基本的な知識と技能の修得を目指す教育を行う。基礎科目ではビジネス社会の基本的素養であるビジネスマナー、人間関係の構築やホスピタリティマインドを涵養する科目を配置する。基幹科目では経営学を中心とした現代ビジネスの理解に不可欠な科目群を配置する。展開科目では基礎科目及び基幹科目を受けて、各種推奨履修モデルを中心として、発展的にビジネス分野について学修を深める科目群を配置する。履修モデルにかかわらず、各モデルに属する科目群は選択科目として配置する。
3. 演習分野では、1年生の前期から2年生の後期まで、毎学期、教員が学生を身近で指導できる少人数のゼミ科目を配置するほか、キャリア形成支援に関わる科目を配置する。
4. 地域社会に貢献できるビジネス実務能力を身につけられる科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ）

<https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/>

情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照

（概要）

ビジネスキャリア学科では、職業人として地域社会の活性化に貢献する人材、自己向上の意欲を持ち続け、広い意味でのキャリア形成に生涯努める人材の育成を図ることを目標としています。

この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。

1. 生涯を通して学修を積み視野を広げる意識を持ち、常に向上心・探究心を持って自分の人生を創造できる。
2. 大学生活においてより一層コミュニケーション能力の向上に努め、自分が関係する社会と良好な関係を築く意欲がある。
3. 社会で必要とされる知識・能力・実務スキルを身につける意欲を持ち、将来これを活用して課題を発見し解決を図ることができる。
4. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。

学部等名 こども学科

教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ）

<https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/>

情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照

（概要）

こども学科においては、次代を生きる子どもの心身の発達及び成長に資する人材を育成するために、人間形成を図っていくための基礎を教授し、教育及び保育に関する専門的知識・技能を身につけさせ、教育・保育の現場に柔軟に対応し実践できる力を涵養させることを教育研究上の理念とする。

乳幼児の教育の構造を幼稚園・こども園・保育所、家庭、地域社会の三者連携の中で捉え、乳幼児が豊かな体験をしていくことが可能となるよう適切な環境を構成し、乳幼児の発達を助長し、健やかな成長を促すことができるような保育者の育成を志向する。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） こども学科に2年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表わされた本学科が定める学修成果を身につけ、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（こども学）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 1. 変化の激しい社会の中で、どのような状況や環境に置かれても生き抜いていくための基礎力を涵養するべく、実社会と結びつき、かつ学科の分野にとらわれない共通の内容を基本とした、教養教育分野を配置する。 加えてこども学の専門教育に繋がる教養教育科目も配置する。 2. 考える力、感じる力、想像する力、判断する力、表現する力を高める科目を設置する。 3. 教育・保育の全体的な構造の把握と、こども理解の深化を促し、実践的指導力の育成を目指した教育を展開する。 4. 身につけた知識と技能を活用し、課題の解決に結びつけられる実践力の修得を目指し、実習関連科目を体系的に配置する。 5. 幼児教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力の養成と、実践的な能力及び卒業後のキャリア形成能力の養成を目的として、個々の学生の資質能力を見極め、その力を伸ばすための基礎演習を設置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） こども学科では、教育及び保育に関する専門知識・技能や、教育・保育の現場に柔軟に対応し実践できる力を身につけ、次代を生きる子どもの心身の発達及び成長に資する人材を育成することを目標としています。 この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 自分の考えを自分の言葉で伝えることができる。 2. 子どもに関する社会問題を自分の問題として考えることができる。 3. 基礎的技能を用いて、自己表現することができる。 4. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。

学部等名 歯科衛生学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 歯科衛生学科では、学生が本来持っている個人の資質を心理面・身体面・社会面のバランスを取りながら成長させ、社会人並びに医療従事者としての高い倫理観を養い、さらに口腔衛生の専門職として保健・医療・福祉に通じる知識・技術・判断力を高め、日々進歩する医療を生涯にわたって学び続けることができる人材を育成することを教育研究上の理念とする。 1. 保健・医療・福祉に精通した医療従事者として、歯科衛生の側面から様々なライフステージを理解し、人間と健康についての知識を身につけ、人々の健康増進の取り組みに貢献できる人材の養成を行う。 2. 日常生活から周術期、リハビリテーションに至るまでの口腔機能向上に努めることができ、かつ口腔衛生の専門職としての知識と技術に加え、高い倫理観と豊かな人間性を兼ね備えた歯科衛生士の育成を目指す。 3. 卒業後は病院歯科や歯科診療所等の医療機関にとどまらず、保健・福祉を含めた幅広い領域での活躍が期待できる。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 歯科衛生学科に3年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表わされた本学科が定める学修成果を身に付け、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（歯科衛生学）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 1. 現代社会が求めるコミュニケーション能力と論理的思考力の基礎を養い、かつ、人として豊かに生きていくための土台を成すことを目指した科目群として教養教育分野を配置する。 2. 歯科衛生学の専門領域科目に係る科目群として専門教育分野を配置する。専門教育分野には、実践能力の基礎となる専門的知識や理論及び歯科衛生を取り巻く保健・医療・福祉について講義を中心に学ぶ専門支持科目群と、講義・演習・実習の体系的な配置により専門支持科目で学んだ理論を技術と統合していく専門展開科目群を置く。 3. 専門展開科目群の中には、理論と技術を実践につなげることを目的として臨地実習科目を配置し、3年間を通して段階的に展開する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 歯科衛生学科では、社会人並びに医療従事者としての高い倫理観を養い、さらに口腔衛生の専門職として保健・医療・福祉に通じる知識・技術・判断力を高め、日々進歩する医療を生涯にわたり学び続けることのできる人材の養成を目標としています。この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 医療に携わる職を目指す者として、心身の健康を大切にできる。 2. 他者の痛みを理解し、良好な人間関係を築くことができる。 3. 生涯にわたり学び、成長し続ける意志を持っている。 4. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。

学部等名 栄養学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 栄養学科では、栄養学の基礎的知識及び給食現場で必要とされる基礎的技術を確実に身につけ、卒業後は他の栄養に携わる専門職及び医療・福祉等の専門職者と連携することができ、対象者の健康を食の面から支えるための労を惜しまない人材を育成する。加えて、様々なライフステージにおける栄養と健康の関わりを理解し、変化する食環境を取り巻く課題を発見し解決するために主体的に考え行動できる力を身につけさせることを教育研究上の理念とする。 教育研究上の理念を踏まえ、以下の人材を養成する。 1. 栄養に携わる者としての専門的知識・技術、責任・自覚を持った人材 2. 主体的に考え行動し、他者を理解し協働できる人材 3. 生涯にわたって健康で学び続けることのできる人材
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 栄養学科に2年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表わされた本学科が定める学修成果を身に付け、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（栄養学）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照

(概要) 1. 社会人として必要な豊かな人間性やコミュニケーション能力を養う教養教育分野を配置し、幅広い教養教育を展開する。加えて栄養学の専門教育に繋がる教養教育科目も配置する。 2. 栄養士となるための幅広い専門的知識と理論を修得する専門教育科目として、専門支持科目、専門基礎科目、専門展開科目、実践科目を体系的に配置する。講義で修得した知識と理論を基礎に、実践能力・技術を身につけるためのグループ学修を行う実験・実習科目を充実させる。 3. 栄養士に必要な給食業務を実際に経験する科目として校外実習を配置し、自らテーマを設けて調べ、学び、考え、まとめる能力を育成する。校外実習への心構え等を身につけるために栄養基礎演習を配置し、校外実習で身につけた総合的実践力を発表する能力等を育成するために栄養総合演習を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
(概要) 栄養学科では、栄養に携わる者としての専門的知識・技術、責任・自覚を持ち、主体的に考え行動し、他者を理解し協働することができ、生涯にわたり健康で学び続けることができる人材を養成することを目標としています。 この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 栄養と健康のかかわりに関心を持ち、心身の健康を大切にできる。 2. 他者の立場に立って考え、良好な人間関係を築くことができる。 3. 生涯にわたり学び、成長し続ける意志を持っている。 4. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。

学部等名 観光ビジネス学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
(概要) 観光ビジネス分野の人材として地域社会の活性化に貢献し、生涯にわたって当該分野のキャリア形成に努める人材を育成することを教育研究上の理念とする。卒業後は、旅行会社、ホテル、鉄道、空港等の観光ビジネス分野に就業し、活躍できる人材を養成する。 教育研究上の理念を踏まえ、以下の人材を養成する。 1. 観光ビジネス分野に携わる者に求められる基礎的素養を身につけた人材 2. 経営学を中心とする基礎理論、観光ビジネス分野に関する専門的知識及び能力を身につけた人材 3. 地域社会に貢献する意欲を持ち、生涯にわたって学び続けることのできる人材

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 観光ビジネス学科に2年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表された本学科が定める学修成果を身に付け、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（観光ビジネス学）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 1. 変化の激しい社会の中で、どのような状況や環境に置かれても生き抜いていくための適応力を涵養するため、実社会と結びつき、かつ学科の専門分野にとらわれない共通の内容を基本とする教養教育分野を配置する。 さらに教養教育分野には観光ビジネス学の専門教育に繋がる教養教育科目も配置する。 2. 基礎科目、基幹科目、展開科目からなる専門教育分野を編成する。基礎科目では観光ビジネス学を学ぶ際に基礎をなす科目群を必修科目として配置する。基幹科目ではビジネス実務能力、ホスピタリティマインドを涵養する科目群を必修科目として配置する。展開科目では基礎科目及び基幹科目を受けて、各種推奨履修モデルを中心として、発展的に観光ビジネス分野について学修を深める科目群を置く。 3. 演習分野では、1年生の前期から2年生の後期まで、毎学期、教員が学生を身近で指導できる少人数のゼミ科目を配置するほか、実践的なキャリア形成支援に関わる科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 観光ビジネス学科では、観光ビジネス分野に携わる者に求められる基礎的素養・専門的知識及び能力を身に付け、地域社会に貢献する意欲を持ち、生涯にわたり学び続けることのできる人材を育成することを目標としています。 この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 観光を通して社会に貢献するための知識・能力を身につけることを希望している。 2. 他者と協働する姿勢を持ち、周囲と良好なコミュニケーションを図ることができる。 3. 広く社会的事象に関心を持ち、それらの関連性を自分の言葉でわかりやすく表現することができる。 4. 高等学校等卒業までに学習した主要教科・科目、とりわけ社会・文化・経済などに関する科目について基本的な知識を有し、各科目間の関連性を理解している。

学部等名 現代英語学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 現代英語学科では、国際共通語として現代世界で使用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」という4技能の習得を通じ、実用的英語力を身につけた人材を育成する。併せて、バランスのとれた教養、他者の考えを理解し自分の考えを表現するコミュニケーション能力、ビジネス実務能力などの社会人として求められる基礎的素養を涵養することを教育上の目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 現代英語学科に2年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表された本学科が定める学修成果を身につけ、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（英語）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 1. 変化の激しい社会の中で、どのような状況や環境に置かれても生き抜いていくための基礎力を涵養すべく、実社会と結びつき、かつ学科の分野にとらわれない全学共通の内容を基本とした、『教養教育分野』を配置する。加えて、現代英語学科の専門教育につながる教養教育科目も配置する。 2. 『専門教育分野』は、『専門基礎科目』、『専門展開科目』及び『関連科目』にて構成する。『専門基礎科目』では、「話す」「聞く」「読む」「書く」の英語4技能を中心に、基礎となる科目を配置する。『専門展開科目』は、『専門基礎科目』で学んだことを基盤とし、4技能を統合した実用的英語運用能力を身につける科目を配置する。さらに、ビジネス実務能力を養成する科目を『関連科目』として配置する。 3. 『演習分野』は、1年次前期から2年次後期まで、教員が学生に身近で指導し、個々の学生の資質能力を高める、少人数のゼミ科目のほか、キャリア形成支援に関わる科目を配置する。加えて、リスニング、リーディング、文法、語彙に関するスキルを強化し、総合的に英語力を向上させる科目を置く。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照

(概要) 現代英語学科では、国際共通語として現代世界で使用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」という4技能の習得を通じ、実用的英語力を身につけた人材を育成することを目標としています。 この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。 2. 本学での学びを通じて、英語力を向上する意欲がある。 3. 他者と良好なコミュニケーションを図ることができる。 4. 学修習慣が身についており、生涯を通じて学び続ける意志を持っている。
--

学部等名 言語聴覚学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
(概要) 人間の尊厳についての理解を深化させ、豊かな人間性を涵養しながら、生涯にわたって学び続ける力を育み、「人間」を学際的な視点から理解するために必要な知識と、治療・援助・指導を行うための実践的な技術を身につけた言語聴覚士を養成することに教育研究上の理念を置く。 学生が本来持っている個人の資質を成長させ、職業人としての倫理観を養い、人間愛を育て、幅広い知識と高度な技術を臨床現場で活用し得る能力を備えた言語聴覚士を養成する。また、医療を取り巻く著しい変化の中で、チーム医療の一員として高いコミュニケーション能力を発揮し、地域社会に貢献し得る人材を養成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
(概要) 言語聴覚学科に3年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表された本学科が定める学修成果を身につけ、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（言語聴覚学）」の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
(概要) 1. コミュニケーション能力や豊かな人間性を養うべく、実社会と結びつき、かつ学科の分野にとらわれない共通の内容を基本とした科目群として、教養教育分野を配置する。加えて言語聴覚学の専門教育に繋がる教養教育科目を配置する。

2. 言語聴覚学の幅広い専門的知識と技術を修得するための専門領域科目に係る科目群として、専門教育分野を配置する。専門教育分野は、専門支持科目、専門展開科目、専門独自科目にて構成する。 3. 専門展開科目の中には臨床実習科目を配置し、3年間を通して段階的に展開する。 4. 保健・医療・福祉分野の専門職チームの一員としての実践能力を養い、地域社会におけるリハビリテーションの使命と役割について理解させる科目を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 言語聴覚学科では、職業人としての倫理観を養い、人間愛を育み、幅広い知識と高度な技術を臨床現場で活用し得る能力を備えた言語聴覚士を養成することを目標としています。 この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。 2. 他者と良好な人間関係を築くことの重要性を理解し、コミュニケーション能力の向上に努めることができる。 3. 人間の尊厳を理解し、自身の健康を大切にできる。 4. 他者の心身の痛みや苦悩に寄り添い、共感することができる。

学部等名 救急救命学科
教育研究上の目的（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 人間についての深い考察に基づく豊かな人間性と職業人としての倫理観を涵養し、学生が本来持っている個人の資質を成長させながら、科学的根拠に基づいた正確な知識と実践的な技術を身につけた救急救命士を養成することに教育研究上の理念を置く。どのような救急救命の現場においても、強い使命感を持って専門的な知識と確かな技術で適切な救急救命を実践し、地域社会に貢献し得る救急救命士を養成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 救急救命学科に2年以上在学し、【基礎力】【実践力】【人間関係力】【生涯学習力】【地域理解力】の5つの力で表わされた本学科が定める学修成果を身につけ、所定の卒業要件単位数を満たした者に、「短期大学士（救急救命学）」の学位を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 1. コミュニケーション能力と論理的思考力の基礎を養い、実社会と結びつき豊かな人間性を育む科目群として、教養教育分野を配置する。 2. 救急救命学の専門的知識と技術を修得するための専門領域科目に係る科目群として、専門教育分野を配置する。専門教育分野は、専門基礎科目と専門展開科目にて構成する。 3. 専門基礎科目には、救急救命学の専門領域における、基礎的な知識と技術を身につけるための科目を設定する。専門展開科目には、救急救命学の専門領域における、より実践的な知識と技術を身につけるための科目を系統的に配置する。専門展開科目の中には臨地実習科目を配置し、2年間を通して段階的に展開する。臨地実習科目には、講義科目で修得した知識を技術と統合し、チーム医療の一員としての協調性を養う科目と、救急救命の実際を体験する科目を設定する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ） https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照
（概要） 救急救命学科では、どのような救急救命の現場においても、強い使命感を持って専門的な知識と確かな技術で適切な救急救命を実践し、地域社会に貢献し得る救急救命士を養成することを目指しています。 この目標を達成するために、以下のような能力と資質を持った学生を求めます。 1. 入学後に学びを継続するための基礎学力を有している。 2. 他者の痛みや苦悩に寄り添い、他者を助けようとする志を持っている。 3. 他者と良好な人間関係を築くことの重要性を理解し、コミュニケーション能力の向上に努めることができる。 4. 生涯にわたり学び続け、成長し続ける意志を持っている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 1. 大学の教育研究上の目的 参照

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）	
-------------	--

学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
ビジネスキャリア学科	－	2 人	3 人	3 人	0 人	0 人	8 人
こども学科	－	3 人	5 人	1 人	1 人	0 人	10 人
歯科衛生学科	－	3 人	1 人	1 人	3 人	1 人	9 人
栄養学科	－	3 人	1 人	1 人	2 人	3 人	10 人
観光ビジネス学科	－	2 人	2 人	1 人	0 人	0 人	5 人
現代英語学科	－	2 人	2 人	0 人	0 人	0 人	4 人
言語聴覚学科	－	2 人	1 人	1 人	2 人	0 人	6 人
救急救命学科	－	1 人	1 人	1 人	0 人	0 人	3 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1 人	154 人	155 人

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」3. 教員組織、教員の数、 各教員が有する学位及び業績 参照
------------------------------	---

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

本学では、FD・SD 委員会が策定し、運営協議会での承認を得た「授業改善アンケート活用制度」に基づき、教育成果の検証と授業改善の検討等を目的として授業改善アンケートを活用している。授業改善アンケートの結果については、各科目担当教員が確認し、各学科長に授業改善計画を提出することで、授業内容の改善及びブラッシュアップに取り組んでいる。さらに、全学及び各学科単位での FD 研修会を毎年度実施し、教員の授業改善に対する資質向上に努めている。令和 7 年度には、全学（併設の四年制大学との合同実施分を含む。）及び各学科 FD 研修会を合計 10 件実施した。

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ビジネスキャリア学科	155 人	133 人	85.8%	310 人	282 人	91.0%	0 人	0 人
こども学科	100 人	61 人	61.0%	200 人	133 人	66.5%	0 人	0 人
歯科衛生学科	70 人	64 人	91.4%	210 人	195 人	92.9%	0 人	0 人
栄養学科	75 人	70 人	93.3%	150 人	125 人	83.3%	0 人	0 人
観光ビジネス学科	50 人	46 人	92.0%	100 人	100 人	100.0%	0 人	0 人
現代英語学科	35 人	30 人	85.7%	70 人	51 人	72.9%	0 人	0 人
言語聴覚学科	40 人	33 人	82.5%	120 人	99 人	82.5%	0 人	0 人
救急救命学科	40 人	39 人	97.5%	80 人	80 人	100.0%	0 人	0 人
合計	565 人	476 人	84.2%	1,240 人	1,065 人	85.9%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ビジネスキャリア学科	137 人 (100%)	8 人 (5.8%)	119 人 (86.9%)	10 人 (7.3%)
こども学科	65 人 (100%)	0 人 (0.0%)	62 人 (95.4%)	3 人 (4.6%)
歯科衛生学科	58 人 (100%)	0 人 (0.0%)	51 人 (87.9%)	7 人 (12.1%)
栄養学科	61 人 (100%)	2 人 (3.3%)	56 人 (91.8%)	3 人 (4.9%)
観光ビジネス学科	53 人 (100%)	0 人 (0.0%)	51 人 (96.2%)	2 人 (3.8%)
現代英語学科	25 人 (100%)	1 人 (4.0%)	19 人 (76.0%)	5 人 (20.0%)
言語聴覚学科	37 人 (100%)	0 人 (0.0%)	26 人 (70.3%)	11 人 (29.7%)
救急救命学科	32 人 (100%)	3 人 (9.4%)	23 人 (71.9%)	6 人 (18.8%)
合計	468 人 (100%)	14 人 (3.0%)	407 人 (87.0%)	47 人 (10.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 全学科・全学年の授業科目について、修業年限を通した学修成果（到達目標）、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、及び、各科目における学修成果の位置付け、ナンバリング、授業形態（講義、演習、実験、実習の別）、授業の概要、到達目標、学修者への期待、年間の授業の計画（授業の回数やスケジュール）、準備学修（授業時間以外に必要な学修）、評価の方法等を記載したシラバスを作成している。 また、各授業科目で実務経験を有する教員の科目の場合、実務経験の概要や授業科目との関連性も掲載している。 シラバス作成に際しては、シラバス作成要領を教務委員会で作成し、運営協議会で承認を得ている。令和8年度のシラバス作成に際しては、令和7年12月～令和8年1月に学科単位でシラバス作成のFD研修会を実施し、シラバス作成を行った。 各科目担当教員が作成したシラバスは、教務委員会でチェックし、修正依頼を行った上で原稿を完成し、本学ホームページで公表している。学生に対しては、学生専用ポータルサイト（UNIPA）から閲覧できる旨、オリエンテーションで周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

本学学則では、学修の評価及び単位の認定について、以下のように定めている。

仙台青葉学院短期大学 学則

(学修の評価及び単位の認定)

第 24 条 本学は、各授業科目を履修した者に対して、試験その他適切な方法により総合的に学修の成果を評価し、単位を認定する。

2 評価及び単位の認定に係る基準は別に定め、あらかじめ学生に明示する。

上記の認定に係る基準は、本学履修規程において規定している。また、各科目の具体的な成績評価方法はシラバスに明記している。シラバス作成要領には「評価の方法」の項目を設け、試験、授業内課題等、学修成果の適切な評価を求めている。

単位認定者が作成した各科目の成績評価結果は、教務委員会において審議、承認をしている。

成績評価基準は、本学履修規程に定め、学生便覧に掲載し、ホームページにおいて公表している。併せて、客観的な成績評価の指標である GPA を用いている。GPA の算出方法については、本学履修規程に明記するとともに、学生便覧において算出例を挙げ具体的に説明し、その活用例についても記載している。

GPA の計算は以下のように行っている。

成績評価が AA の GP=4、A の GP=3、B の GP=2、C の GP=1 とし、不合格科目の GP=0 とする。履修登録した各授業科目の単位数に当該授業科目の GP を乗じた値を、履修登録した全授業科目について総計し、その値を履修登録した授業科目の総単位数で除したものを GPA とする。

GPA による成績分布状況を把握し、成績優秀者の表彰や学修指導に活用する等、成績評価において客観的な指標を設定し、適切に運用している。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を定め、学生便覧に記載するとともに、ホームページで公表している。

また、本学学則第 35 条に卒業要件を定め、同第 36 条に基づき、卒業認定を行っている。

学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
ビジネスキャリア学科	62 単位	有・無	50 単位
こども学科	62 単位	有・無	54 単位
歯科衛生学科	100 単位	有・無	41 単位
栄養学科	62 単位	有・無	37 単位
観光ビジネス学科	62 単位	有・無	50 単位
現代英語学科	62 単位	有・無	48 単位
言語聴覚学科	103 単位	有・無	55 単位
救急救命学科	70 単位	有・無	50 単位

G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法： 仙台青葉学院短期大学ホームページ「2026 年度学生便覧」 https://seiyogakuin.ac.jp/college/student/binran Ⅲ履修について GPA の活用：56 ページ参照
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：仙台青葉学院ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/hokuto/ 学校法人北杜学園について 北杜学園 事業・財務報告 「令和7年度 事業報告書 学校法人北杜学園」 6-7 ページ参照 「情報公開」 https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/ 情報公開「教育情報」 7. 校地、校舎等の施設及び設備、その他の学生の教育環境 参照

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
ビジネスキャリア学科 (2026 年度入学生)	1, 000, 000 円	250, 000 円	0 円	
ビジネスキャリア学科 (2025 年度入学生)	980, 000 円	250, 000 円	0 円	
こども学科	1, 000, 000 円	250, 000 円	0 円	
歯科衛生学科	1, 000, 000 円	250, 000 円	0 円	
栄養学科	1, 000, 000 円	250, 000 円	0 円	
観光ビジネス学科 (2026 年度入学生)	1, 000, 000 円	250, 000 円	0 円	
観光ビジネス学科 (2025 年度入学生)	980, 000 円	250, 000 円	0 円	
現代英語学科 (2026 年度入学生)	1, 000, 000 円	250, 000 円	0 円	
現代英語学科 (2025 年度入学生)	980, 000 円	250, 000 円	0 円	
言語聴覚学科	1, 400, 000 円	250, 000 円	0 円	
救急救命学科 (2026 年度入学生)	1, 360, 000 円	250, 000 円	0 円	
救急救命学科 (2025 年度入学生)	1, 320, 000 円	250, 000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生総合支援センターと教員が連携し、学生が充実した大学生活を送ることができるよう、学生生活の相談、奨学金、就職、進学などについて総合的にサポートしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生総合支援センターと教員が連携し、学生が希望する就職を実現させるため、業界・分野別のセミナー開催、就職試験受験相談、応募書類作成の指導や面接試験対策など、各学科の特性を踏まえ、きめ細かく対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 保健室を含む学生総合支援センターと学生相談室が専門的な連携を図り、健康相談、応急措置や医療機関の案内等は保健室が、心身の健康や人間関係、学業や将来に関する不安や悩みなどについては学生相談室が窓口となり、支援している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：仙台青葉学院短期大学ホームページ
「情報公開」<https://seiyogakuin.ac.jp/disclosure/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F204310101020
学校名（〇〇大学 等）	仙台青葉学院短期大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 北杜学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		310人（ 153 ）人	287人（ 149 ）人	320人（ 163 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	106人	96人	
	（うち多子世帯）	（ 23人）	（ 25人）	
	第Ⅱ区分	47人	48人	
	（うち多子世帯）	（ ー 人）	（ 12人）	
	第Ⅲ区分	50人	39人	
	（うち多子世帯）	（ 15人）	（ ー 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	45人	32人	
	区分外（多子世帯）	62人	72人	
家計急変による 支援対象者（年間）				ー 人（ 0 ）人
合計（年間）				322人（ 163 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	— 人	0人	— 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	— 人	— 人	— 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	— 人	— 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	— 人	— 人	— 人
計	— 人	— 人	20人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	— 人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	— 人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	— 人	0人	— 人
GPA等が下位4分の1	— 人	24人	15人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	— 人	20人	15人
計	— 人	28人	17人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。